



いばら



公共交通かわら版

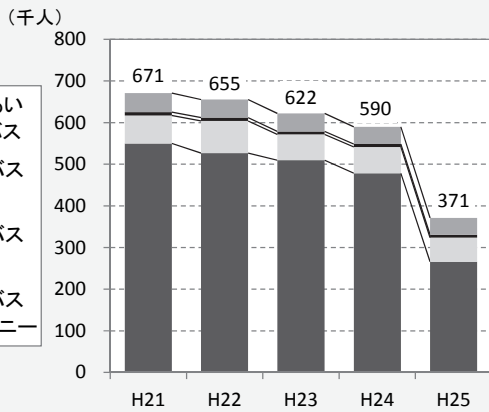
バスの利用状況とバス等に対する財政負担について

市では、公共交通を維持するために財政負担を行っています。今号では、バスの利用状況やバス等の運行維持に対する市の負担についてご紹介します。

■バスの利用状況

現在、市内では民間の路線バス8路線、井原あいあいバス11路線が運行されていますが、利用者は減少が続いており、平成21年度と平成24年度を比較すると約八万一千人減少しています。

井原市内のバスの利用者数（年間）



※井笠バスカンパニーはH24までは井笠鉄道

その後、平成24年10月に井笠鉄道が経営悪化により事業を終了したため、臨時措置による中国バスの代替運行を経て、路線を整理統合した上で、平成25年4月からは新たに設立された井笠バスカンパニーによる運行が始まるという経緯もあり、平成25年度の利用者数は大きく減少しています。

■バス等に対する負担額

市では、バス等の運行を維持するために、年間約一億三千万円を負担しています。この額は、市民1人あたり約三千円であり、利用者数の減少やバス事業者の厳しい経営状況により、増加傾向にあります。

公共交通は、車を運転できない学生や高齢者には欠かせない移動手段です。

市では、平成23年3月に策定した「井原市地域公共交通総合連携計画」に基づき、路線・ダイヤの見直しや利用促進等の取り組みを行っています。今後とも、より利用しやすい交通体系を目指し、さまざまな事業に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひします。

■運行維持に対する市負担額

年度		H22	H23	H24	H25
市負担額 (千円)	民間路線バス	44,366	49,934	58,692	57,882
	井原あいあいバス	24,805	26,971	43,519	26,560
	スクールバス	44,510	43,546	41,739	42,646
	予約型乗合タクシー	195	451	1,901	2,992
計		113,876	120,902	145,851	130,079
市民1人あたりの負担額 (円/人)		2,569	2,753	3,321	3,012

バスや鉄道に乗って お出かけしてみませんか？

乗って残そう
公共交通！



クルマはとても便利で快適な乗り物ですが、環境や健康、交通事故など、「クルマばかりの生活」には困ったことも少なくありません。

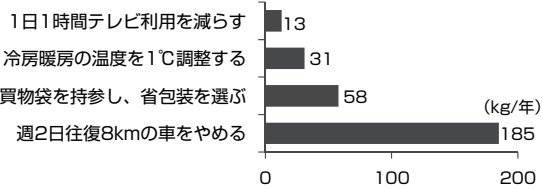
クルマの使い方を見直して、たまには、バスや鉄道に乗ってお出かけしてみませんか？

1

クルマを少し控えることは、 環境に優しいです。

環境にやさしい行動としては、「冷房暖房の温度調節」や「リサイクルの徹底」など、さまざまな方法がありますが、「クルマの利用を少し控える」ことも非常に効果的な方法です。

1年間に削減できるCO₂の排出量



(出典：身近な地球温暖化対策「家庭でできる10の取り組み」(環境省))

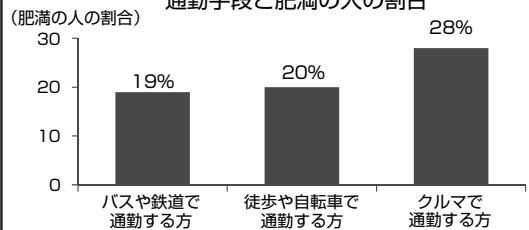
2

バスや鉄道は、クルマに比べて 健康的に生活できます。

クルマは、ずっと座って移動できるのでとてもラクですが、クルマにばかり頼っていると運動不足になってしまいがちです。

通勤手段と肥満の割合を比べると、クルマで通勤する人の肥満の割合は、他の手段と比べ1.4~1.5倍も高くなっています。

通勤手段と肥満の人の割合



(出典：モビリティ・マネジメント教育のすすめ)

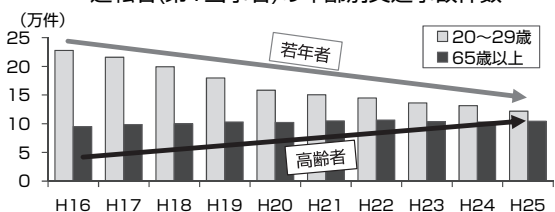
3

バスや鉄道は、クルマに比べて 安全に移動できます。

自分が運転しなくてもよいバスや鉄道と比べて、クルマには交通事故の危険が伴います。

特に、高齢者の運転するクルマが第1当事者(加害者)となる事故は、年々増えています。

運転者(第1当事者)の年齢別交通事故件数



(出典：交通事故の発生状況(警察庁))

おokayama愛♡カードのご紹介

岡山県警察では、運転免許証を自主返納された65歳以上の高齢者の方に「おokayama愛カード」を交付しています。このカードを提示すると、協賛店で商品の割引や公共交通機関(鉄道・バス・タクシー)の協賛車での運賃割引などのサービスを受けることができます。

いかがですか？

みんなが少しずつ、環境や健康、安全のことを考え、クルマの利用を控え、少しでも公共交通を利用することで、市の財政負担も軽くなり、みんなのまち、みんなの公共交通を守ることができるのです。



井原市マスコットキャラクター
でんちゅうくん

2